



各 位

2023年5月18日

会 社 名 パレモ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 福井正弘
(コード番号 2778 東証スタンダード・名証メイン)
問 合 せ 先 取締役管理担当 太田直人
電 話 番 号 052-581-6800

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、「2023年2月期 決算短信[日本基準] (連結)」に記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」につきまして、明日提出予定の有価証券報告書より記載を解消することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、2021年2月期及び2022年2月期連結会計年度において、新型コロナウイルス感染症の影響等により、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、2022年2月期連結会計年度の純資産額が418百万円、自己資本比率4.2%まで低下すると同時に、流動負債合計が流動資産合計を上回る状況が継続しており、金融機関との支援状況によっては資金繰りに重要な懸念が発生する可能性があったことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況が存在しており、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社グループでは、この状況を解消すべく、2022年3月に「事業再構築計画」を策定し、不採算店舗の閉店を進めるとともに、コロナ禍においても収益拡大が進んでいる300円均一雑貨ショップの「illusie300」の新規出店及びアパレル店舗からの業態変更を行うほか、経費削減では全てのコストについて見直しを図り、支出を最小限に抑える取り組みを進めました。これらの事業構造改革や経費削減を「事業再構築計画」1年目において予定通り進捗したことから、2023年2月期には営業利益527百万円、経常利益580百万円、親会社株主に帰属する当期純利益562百万円を計上いたしました。またこの間、各金融機関とは定期的に「事業再構築計画」の進捗について詳細の説明、協議の場を設けるなど、理解を得ながら緊密な関係を維持してまいりました。

この結果、2023年5月12日に実施しましたバンクミーティングにおいて、2023年5月19日を期限としていた借入金に関しましては、総額570百万円の借入金を各金融機関の融資残高に応じて均等に返済させて頂いた上で、返済後の融資残高に関しましては、2024年5月20日まで引き続き残高を維持していただく旨、全金融機関から同意を得ることができたことから、今後も計画が達成される限りにおいては、運転資金及び投資資金を十分に賄える状況と判断しております。

従いまして、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況は存在するものの、重要な不確実性は認められないものと判断して、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することとなりました。

株主をはじめとするステークホルダーの皆様には大変ご心配をおかけしましたが、今後とも持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援たまわりますようお願い申し上げます。

以上